

四半期報告書

(第44期第2四半期)



株式会社 **コア**

(E05332)

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	4
第3 【提出会社の状況】	7
1 【株式等の状況】	7
2 【役員の状況】	8
第4 【経理の状況】	9
1 【四半期連結財務諸表】	10
2 【その他】	19
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	20

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月12日

【四半期会計期間】 第44期第2四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

【会社名】 株式会社コア

【英訳名】 CORE CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長執行役員 築 田 稔

【本店の所在の場所】 東京都世田谷区三軒茶屋一丁目22番3号

【電話番号】 03-3795-5111

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員
最高財務責任者 大 平 茂

【最寄りの連絡場所】 東京都世田谷区三軒茶屋一丁目22番3号

【電話番号】 03-3795-5111

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員
最高財務責任者 大 平 茂

【縦覧に供する場所】 株式会社コア R&Dセンター
(神奈川県川崎市麻生区南黒川11番1号)
株式会社コア 関西カンパニー
(大阪府大阪市住之江区南港東八丁目2番25号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第2四半期 連結累計期間	第44期 第2四半期 連結累計期間	第43期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	9,772,621	9,328,923	20,629,644
経常利益 (千円)	367,795	20,290	862,869
四半期(当期)純利益 (千円)	167,444	19,071	410,001
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	165,648	10,470	416,473
純資産額 (千円)	7,323,777	7,301,063	7,575,660
総資産額 (千円)	14,293,029	14,593,378	14,458,933
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	11.78	1.34	28.85
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	50.9	49.7	52.0
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	450,087	561,449	403,056
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	778	△498,756	△252,080
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△298,786	269,325	△674,296
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,545,910	1,204,652	874,946

回次	第43期 第2四半期 連結会計期間	第44期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	7.50	5.96

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、個人消費や震災復興関連需要などの公共投資に支えられ堅調に推移したものの、欧州債務問題などを背景とした金融資本市場の変動や海外経済の下振れ影響から、依然として先行き不透明な状況にあります。

情報サービス産業は、先行き不透明な状況を背景に企業のIT投資には慎重姿勢が続いておりますが、「クラウドコンピューティング」「スマートフォン」「M2M」といったITトレンドや、社会問題解決のためのITインフラ整備など、時代の要請を反映した需要については、伸長する兆しが見えてきております。

当社グループはこうした経営環境の下、引き続き「既存事業の強化」「新たなビジネスモデルの創出」「体質・構造の改革」を柱に、特化技術の提供や特長ある新製品・サービスの拡販に努めてまいりました。また、主要3事業の融合による新事業創出と生産効率の向上を目的に、本社コアビルとコア第二ビルの改装による中核事業拠点の集約化を進めてきました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は9,328百万円（前年同四半期比4.5%減）、営業利益は2百万円（同98.9%減）、経常利益は20百万円（同94.5%減）、四半期純利益は19百万円（同88.6%減）となりました。

セグメント別の業績の状況は次のとおりであります。

〔セグメント情報に関する定性的情報等〕

	売上高							
	エンベデッドソリューション事業		ビジネスソリューション事業		プロダクトソリューション事業		計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,342	△8.9	3,385	12.6	1,600	△20.0	9,328	△4.5
24年3月期第2四半期	4,766	4.8	3,005	△5.8	2,000	5.0	9,772	1.3
(参考)24年3月期	9,647		6,548		4,433		20,629	

	営業利益又は営業損失（△）							
	エンベデッドソリューション事業		ビジネスソリューション事業		プロダクトソリューション事業		計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	32	△83.7	96	4.8	△126	—	2	△98.9
24年3月期第2四半期	200	42.8	92	△25.0	△22	—	270	33.0
(参考)24年3月期	470		60		205		737	

(注) 1 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2 パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

<エンベデッドソリューション事業>

「自動車制御・車載システム」および住宅設備機器開発等の「その他」の売上が増加しましたが、スマートデバイス向け開発等の「携帯電話・通信端末」が大幅に減少しました。その結果、当第2四半期の売上高は4,342百万円（前年同四半期比8.9%減）、営業利益は32百万円（同83.7%減）となりました。

<ビジネスソリューション事業>

基幹業務システム開発を中心に「Webソリューション」の売上が大幅に伸長しました。また、「製造ソリューション」「流通ソリューション」の売上も堅調に推移した結果、当第2四半期の売上高は3,385百万円（前年同四半期比12.6%増）、営業利益は96百万円（同4.8%増）となりました。

<プロダクトソリューション事業>

前年同四半期に特需案件で大幅に伸長した「電子テロップ」で前年同四半期相当の売上高が確保できなかったことに加え、「開発支援ツール」に含まれるソフトウェア及び周辺機器の売上減少等により、当第2四半期の売上高は1,600百万円（前年同四半期比20.0%減）、営業損失は126百万円（同103百万円減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ172百万円減少し、6,983百万円となりました。これは、現金及び預金が349百万円、仕掛品が429百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が1,423百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ306百万円増加し、7,609百万円となりました。これは、有形固定資産が172百万円、無形固定資産が87百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は134百万円増加し、14,593百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ395百万円増加し、5,149百万円となりました。これは、買掛金が185百万円減少しましたが、短期借入金が536百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ13百万円増加し、2,142百万円となりました。これは、長期借入金が19百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は409百万円増加し、7,292百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ274百万円減少し、7,301百万円となりました。これは、配当金の支払284百万円などによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ329百万円増加し、1,204百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、561百万円（前年同四半期比111百万円増加）となりました。これは主に、売上債権の減少による収入が1,019百万円ありましたが、たな卸資産の取得による支出が455百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、498百万円（前年同四半期比499百万円減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が211百万円、無形固定資産の取得による支出が110百万円、預り保証金の返還による支出が112百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、269百万円（前年同四半期比568百万円増加）となりました。これは主に、短期借入金が486百万円増加しましたが、配当金の支払が285百万円あったことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財政上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間のグループ全体の研究開発費は122百万円で、セグメント毎の研究開発費は次のとおりであります。

①エンベデッドソリューション事業(当第2四半期連結累計期間の研究開発費42百万円)

②プロダクトソリューション事業(当第2四半期連結累計期間の研究開発費79百万円)

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,834,580	14,834,580	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株で あります。
計	14,834,580	14,834,580	—	—

(注) 提出日現在発行数には、平成24年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月30日	—	14,834,580	—	440,200	—	152,412

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社タネムラコーポレーション	東京都世田谷区瀬田 1-17-18	2,095	14.12
株式会社シージー・エンタープライズ	東京都渋谷区恵比寿 4-8-10	2,072	13.97
種村良平	東京都世田谷区	1,669	11.25
コア従業員持株会	東京都世田谷区三軒茶屋 1-22-3	677	4.56
種村美那子	東京都世田谷区	441	2.98
種村良一	東京都世田谷区	407	2.75
神山恵美子	東京都世田谷区	347	2.34
田中明美	東京都世田谷区	346	2.34
牛嶋友美	ヒューストン、TX、77077、米国	346	2.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内 2-7-1	160	1.08
計	—	8,563	57.72

(注) 1 上記のほか当社所有の自己株式624千株(4.21%)があります。

2 上記のほか信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 174千株

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 624,600	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,209,200	142,092	株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
単元未満株式	普通株式 780	—	—
発行済株式総数	14,834,580	—	—
総株主の議決権	—	142,092	—

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が81株含まれております。

② 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社コア	東京都世田谷区 三軒茶屋一丁目22番3号	624,600	—	624,600	4.21
計	—	624,600	—	624,600	4.21

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	977,984	1,327,131
受取手形及び売掛金	※2 4,598,426	※2 3,175,067
有価証券	11,790	11,790
商品及び製品	68,669	86,430
仕掛品	632,276	1,062,104
原材料及び貯蔵品	45,995	53,591
その他	820,947	1,267,445
流動資産合計	7,156,090	6,983,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,539,259	1,602,222
土地	3,821,118	3,821,118
その他（純額）	148,781	258,361
有形固定資産合計	5,509,160	5,681,702
無形固定資産	256,383	344,054
投資その他の資産	※1 1,537,299	※1 1,584,058
固定資産合計	7,302,843	7,609,816
資産合計	14,458,933	14,593,378
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,590,293	1,404,433
短期借入金	1,259,465	1,795,616
未払法人税等	136,499	63,091
賞与引当金	603,694	571,543
受注損失引当金	207,333	219,195
製品保証引当金	24,991	19,878
その他	931,764	1,076,217
流動負債合計	4,754,041	5,149,975
固定負債		
長期借入金	1,786,926	1,806,842
退職給付引当金	50,237	48,886
役員退職慰労引当金	192,689	192,689
その他	99,379	93,920
固定負債合計	2,129,232	2,142,339
負債合計	6,883,273	7,292,315

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,200	440,200
資本剰余金	152,412	152,412
利益剰余金	7,595,510	7,330,383
自己株式	△641,805	△641,805
株主資本合計	7,546,316	7,281,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,917	△2,180
為替換算調整勘定	△38,223	△33,307
その他の包括利益累計額合計	△27,305	△35,488
新株予約権	40,143	40,143
少数株主持分	16,505	15,217
純資産合計	7,575,660	7,301,063
負債純資産合計	14,458,933	14,593,378

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	9,772,621	9,328,923
売上原価	7,630,225	7,443,829
売上総利益	2,142,396	1,885,094
販売費及び一般管理費	※ 1,872,358	※ 1,882,127
営業利益	270,038	2,966
営業外収益		
受取利息	350	483
受取配当金	45,237	42,710
持分法による投資利益	1,189	—
受取賃貸料	74,214	16,246
補助金収入	29,285	7,415
その他	8,682	19,301
営業外収益合計	158,959	86,158
営業外費用		
支払利息	35,071	33,290
持分法による投資損失	—	2,751
賃貸収入原価	22,559	5,653
事務所移転費用	—	19,735
その他	3,571	7,404
営業外費用合計	61,202	68,834
経常利益	367,795	20,290
特別利益		
投資有価証券売却益	—	292
受取保険金	7,000	—
特別利益合計	7,000	292
特別損失		
有形固定資産除却損	—	5,172
投資有価証券評価損	88,326	1,373
その他	—	380
特別損失合計	88,326	6,926
税金等調整前四半期純利益	286,469	13,656
法人税、住民税及び事業税	146,325	64,100
法人税等調整額	△29,690	△68,472
法人税等合計	116,634	△4,371
少数株主損益調整前四半期純利益	169,835	18,028
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2,390	△1,043
四半期純利益	167,444	19,071

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	169,835	18,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,729	△16,581
為替換算調整勘定	550	1,894
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,466	7,130
その他の包括利益合計	△4,186	△7,557
四半期包括利益	165,648	10,470
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,076	10,888
少数株主に係る四半期包括利益	2,572	△418

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	286,469	13,656
減価償却費	98,217	104,412
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	89,199	△32,369
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,068	△1,351
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△9,814	—
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,032	11,862
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	4,832	△5,113
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△18,755	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△292
投資有価証券評価損益 (△は益)	88,326	1,373
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	△3,356
有形固定資産除却損	—	5,172
持分法による投資損益 (△は益)	△1,189	2,751
売上債権の増減額 (△は増加)	732,986	1,019,407
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△470,561	△455,161
営業債務の増減額 (△は減少)	△36,969	△220,750
前受金の増減額 (△は減少)	120,485	251,900
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△39,582	△45,818
受取賃貸料	△74,214	△16,246
賃貸費用	22,559	5,653
受取利息及び受取配当金	△45,587	△43,194
支払利息	35,071	33,290
その他	48,262	50,461
小計	826,635	676,288
利息及び配当金の受取額	45,907	43,514
利息の支払額	△34,332	△33,159
法人税等の支払額	△388,122	△125,193
営業活動によるキャッシュ・フロー	450,087	561,449

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,016	△19,440
定期預金の払戻による収入	50,534	—
有形固定資産の取得による支出	△50,571	△211,486
有形固定資産の売却による収入	—	2,672
無形固定資産の取得による支出	△59,579	△110,516
資産除去債務の履行による支出	—	△3,500
投資有価証券の取得による支出	△25	△50,025
投資有価証券の売却による収入	500	1,292
投資事業組合からの分配による収入	—	3,005
出資金の回収による収入	250	—
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	3,549	△10,960
投資不動産の賃貸による収入	74,214	16,239
投資不動産の賃貸による支出	△15,075	△3,711
預り保証金の返還による支出	—	△112,324
投資活動によるキャッシュ・フロー	778	△498,756
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	124,168	486,465
長期借入れによる収入	—	150,000
長期借入金の返済による支出	△138,504	△80,397
リース債務の返済による支出	△323	△1,434
配当金の支払額	△284,127	△285,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	△298,786	269,325
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,675	△2,312
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	150,404	329,705
現金及び現金同等物の期首残高	1,395,506	874,946
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,545,910	※ 1,204,652

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,362千円増加しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
投資その他の資産	7,108千円	7,108千円

※2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	14,245千円	27,329千円

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
人件費	1,181,292千円	1,183,443千円
広告宣伝費	16,151千円	19,053千円
賞与引当金繰入額	72,067千円	57,377千円
退職給付費用	19,243千円	20,700千円
福利厚生費	22,229千円	20,055千円
旅費交通費	55,449千円	60,162千円
減価償却費	31,248千円	40,543千円
研究開発費	157,337千円	82,646千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	1,646,439千円	1,327,131千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△100,528千円	△122,478千円
現金及び現金同等物	1,545,910千円	1,204,652千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	284,197	20.00	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	284,197	20.00	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エンベデッド ソリューション 事業	ビジネス ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,766,299	3,005,504	2,000,817	9,772,621	—	9,772,621
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,377	—	27,803	30,181	△30,181	—
計	4,768,677	3,005,504	2,028,621	9,802,802	△30,181	9,772,621
セグメント利益又は 損失(△)	200,352	92,268	△22,582	270,038	—	270,038

(注)1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エンベデッド ソリューション 事業	ビジネス ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,342,440	3,385,505	1,600,976	9,328,923	—	9,328,923
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,322	—	45,907	48,230	△48,230	—
計	4,344,763	3,385,505	1,646,884	9,377,153	△48,230	9,328,923
セグメント利益又は 損失(△)	32,725	96,666	△126,425	2,966	—	2,966

(注)1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「エンベデッドソリューション事業」のセグメント利益が1,719千円増加し、「ビジネスソリューション事業」のセグメント利益が1,121千円増加し、「プロダクトソリューション事業」のセグメント損失が521千円減少しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11円78銭	1円34銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	167,444	19,071
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	167,444	19,071
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,209	14,209
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月8日

株式会社コア
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 中村和臣
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 今西恭子
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社コアの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社コア及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月12日

【会社名】 株式会社コア

【英訳名】 CORE CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長執行役員 築 田 稔

【最高財務責任者の役職氏名】 取締役常務執行役員
最高財務責任者 大 平 茂

【本店の所在の場所】 東京都世田谷区三軒茶屋一丁目22番3号

【縦覧に供する場所】 株式会社コア R&Dセンター
(神奈川県川崎市麻生区南黒川11番1号)
株式会社コア 関西カンパニー
(大阪府大阪市住之江区南港東八丁目2番25号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長執行役員築田稔及び当社最高財務責任者大平茂は、当社の第44期第2四半期(自平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。

